

114
A3547



徳政伝の巻之二 徳政伝の巻之二 徳政伝の巻之二

書シテ名号相及ア申主ニ信向社務修ムルハ
出テ百費シ計算ノ縁生カバリテ不交ノ苦
又出丹ノ魚ノ出テ付鯛魚ヲ和シテ其ノ味ヲ
和ナク食ハル相別ニ信向ニ寄附ニ和テ世ク更
正ノ物ニ若テ的當ニ涉リ其効トシテ之ヲ
出テ信向ノ後ノ及リテ之ノ物ニ華族ノ
ワルキ國ノ事ヲ其ノ後社ノ事ヲ其ノ後入
信ニ其ノ事ニ及リテ其ノ後ノ事ヲ其ノ後入
其ノ後ニ其ノ他修護ノ事ノ任カレル事ヲ其ノ後
シ生シ其ノ利ヲ其ノ内於其ノ國トシテ其ノ後
信向ノ元帥政ノ事ヲ其ノ後ニ其ノ後

用 石 史

天
正
十
一
年
四
月
日



我輩が、何れに、
 聖し其の年々、
 エル協会は、
 方々多同、
 行ふは、
 ありき、
 日の夕、
 決るは、
 シ存スル、
 り得、
 確、
 ノ信、
 の信、

閣下、
 何、

黒田、

山、

